

本資料は、若者の就職支援サービス『就職Shop』の情報をもとに編集しています。

本資料に関する問い合わせ、資料の一部または全部を転載される場合は、下記までご連絡ください。

編集発行：株式会社リクルートキャリア 広報部 社外広報グループ TEL:03-3211-7117 MAIL:kouho@waku-2.com



若者採用
最前線

03

～若者就職支援の『就職Shop』と、介護の『HELPMAN JAPAN』による協働～

“介護×若者”のマッチング創出で、 介護業界の若手不足と若者のキャリア開発を両立

介護業界における課題

「若手人材不足」

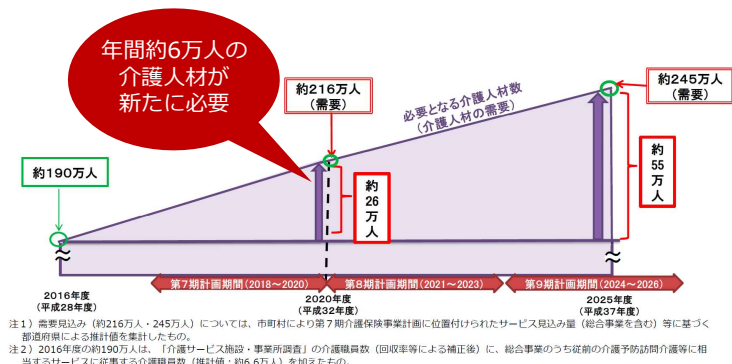
介護業界の人手不足

特に若年層の入職者の少なさは深刻な課題

2018年10月1日現在、日本の総人口は1億2,644万人。そのうち65歳以上人口は3,558万人となり、いわゆる「高齢化率」は28.1%に達しています（※1）。実に4人に1人が高齢者であり、介護を担う人材がこれまでに以上に必要とされていきます。

介護業界では年間約6万人の介護人材を新たに確保しなければならない状況にあります（※2）。特に若年層の入職者が少ないという現状があります。さらに他業界からの未経験者の流入が少ないことも人材不足のひとつの原因と考えられます。

※1：内閣府「令和元年版高齢社会白書」



※2：厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課 福祉人材確保対策室
「福祉・介護人材の確保に向けた取組について」
平成30年9月6日（木）

若者における課題

「就職のミスマッチ」

正社員で働きたい非正規の若者たち

実は「活躍できる場」を探せていないのかも！

現在の日本では、「正社員で働きたいものの、非正規で働いている若者」が約66万人も存在します（※3）。大学卒業後に無進学かつ無就業の若者も約5.8万人もおります。企業側に目を向けると、中小企業における新卒就業者の離職率は依然として高い水準にあり、100人から499人の事業規模では3年以内に30%以上が離職しています（※4）。

正社員で働きたい若者が多い一方、3年以内の離職率が非常に高いということから、就職先を選ぶ段階で“自分が活躍できる場所を選べていない”というマッチングの課題も浮き彫りになっています。

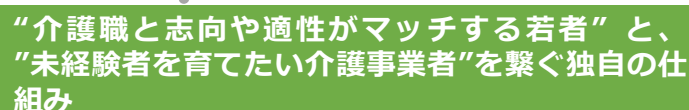
※3：総務省「労働力調査（詳細集計）」（平成30年平均）
第Ⅱ-16表）若者を15歳～34歳とし算出

新規学卒就業者の事業所規模別就職後3年以内離職率

事業所規模	大学	高校
1,000人以上	25.0 %	26.0 %
500～999人	29.6 %	33.1 %
100～499人	32.2 %	37.6 %
30～99人	39.3 %	46.0 %
5～29人	49.7 %	55.4 %
5人未満	57.7 %	64.9 %

※4：厚生労働省「新規学卒就業者の離職状況 平成27年3月卒業者の状況」＊新規学卒として雇用保険に加入した者が対象

介護の仕事で活躍ができる若者と介護事業者との橋渡し



最大の特徴は、

- ①本人の志向や適性の掘り起こしに注力
- ②応募意思不問の職場見学
- ③書類選考なしで、面接で相性を確認できる

1

2

3

4

5

『HELPMAN JAPAN』が培ったノウハウを活かした『就職Shop』のキャリアコーディネーターの支援

介護のしごとへの「5つの誤解」

GOKAI 資格・経験が必要？

01 2人に1人が未経験からのスタート

GOKAI 給与が低い？

02 他業種に引けを取らない給与や昇格制度

GOKAI 残業が多い？

03 介護サービス業で働く人の約50%が残業ゼロ

GOKAI 肉体労働が中心？

04 実は業務の50%はデスクワーク

GOKAI 離職率が高い？

05 約6割の職場が離職率10%未満

数多くの未経験の若者が、介護業界に就職をして定着へ

プロジェクト開始後 1 年間で、介護業界への就職決定人数は前年同期比7.5倍に!

介護職の就職決定人数の伸び率

(2017年10月から2018年9月までの決定人数を1とした時)



2018年10月に『就職Shop』と『HELPMAN JAPAN』のプロジェクトが開始。開始後1年で介護職への就職決定人数の伸長率は7.5倍となっています。

プロジェクト開始後の入社者の離職率は5%以下と、他職種で入社をされた方と比べても低い離職率になっており、取り組みの有効性が確認できています。

また、「介護業界の若手人材不足の解消」「就業後のミスマッチの解消」という社会課題の解決に向けた兆しを得ることが出来ています。

“若者の就業先の選択肢を増やしたい” 将来性ある介護サービス業界の魅力を正しく伝えたい”

『就職Shop』を通して若者の就職状況を見てきた、

株式会社リクルートキャリア『就職Shop』 部長 中川 竜宏からのメッセージ

私もリクルートキャリア『就職Shop』が配信するニュースレターに、最後まで目を通して頂き、ありがとうございます。

今回は、未経験の若者に対して、介護サービス事業者の求人をマッチングし成果の兆しが出始めていることを特集しました。このマッチングは、「就職活動の経験自体が少ない若者」と「社会的認知に課題のある介護業界」とのマッチングへのチャレンジであり、我々の同業他社も踏み込んでいない未開拓、且つ難易度が高い領域でした。

本施策の成功のために拘ったのは、若者の目線に立ち、介護サービス業界の実情を分かりやすく専門用語抜きで翻訳して伝えること、若者に体験いただくことでした。まずは面談を通じて業界の実情をしっかりと伝え、少しでも興味を持てただけなら、実際の介護サービス事業者の施設を見学したうえで働けるイメージが持てるかどうかを若者自身に判断してもらうことで、納得感の高い意思決定を多く紡ぐことができました。

これからも『就職Shop』は雇用を通じて社会課題の解決に向き合い続けてまいります。



中川 竜宏

株式会社リクルートキャリア
『就職Shop』 部長

2000年に中央三井信託銀行（現：三井住友信託銀行）入社。2004年に自らが第二新卒として、リクルートエイブリック（現：リクルートキャリア）に入社。法人・個人いずれも顧客対応部門でプレイヤー、およびマネジメントとして、不動産・建設、金融、IT、製造業など幅広い業界と、メンバークラスからハイキャリアクラスまで様々なレイヤーを経験。2017年より『就職Shop』を担当。